

やまなしの福祉

No.337
2017
9月号

特集

高齢運転者の事故防止



写真：上段…75歳以上の高齢運転者の免許証更新時の認知機能検査
下段…(左)ドライブレコーダー付きの実車による指導 (右)ドライブレコーダーでの画像を見ながらの指導(いずれも甲府市の湯村自動車学校) 関連記事 p2をご覧ください。

- P2 改正道交法が施行
- P9 社協ボランティアセンター情報コーナー
- P3 増える運転免許証の自主返納
- P10 保育士就職応援フェア
- P5 民生委員100周年全国大会
- P11 研修講座の案内
- P7 全国健康福祉祭・いきいき山梨ねんりんピック

改正道路交通法が施行

高齢運転者の交通事故防止へ 認知機能検査の機会を拡大

高齢運転者による死亡事故などの重大事故が相次いでいることを受けて、75歳以上の高齢運転者の認知機能の低下に着目した対策を強化する改正道路交通法が3月に施行されました。改正のポイントなどについて、山梨県警察本部に伺いました。

Q. 今回の道交法改正の狙いは？

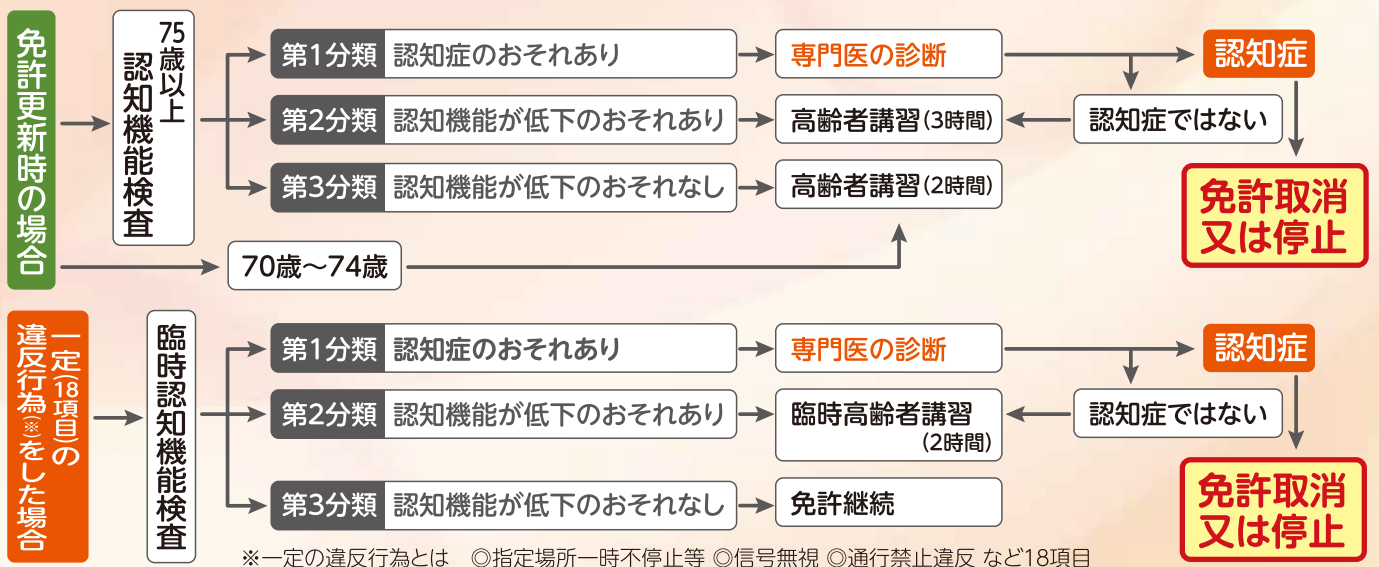
A. 交通死亡事故の中で、75歳以上の高齢運転者による交通死亡事故の割合が高くなっています。また、その特徴として、認知機能の低下により引き起こされる事故が多いことから、今回、75歳以上の高齢運転者の認知機能の低下に着目した対策を講じて交通事故防止を図ることにしています。

Q. 高齢運転者への対応は？

A. 本年度新たに、総合交通センター内の運転免許課に高齢運転者支援係を設置するとともに、医療系専門職員を配置し、高齢運転者や運転に不安のある方からの運転継続や免許返納などの相談に対し、心情に配慮した親切丁寧な対応や支援をしています。

改正道路交通法のポイント 高齢運転者対策の推進

- ① 臨時認知機能検査の新設 75歳以上の運転者が一定の違反行為をしたときに行います。
- ② 臨時高齢者講習の新設 臨時認知機能検査の結果、程度が悪化した場合に行います。
- ③ 臨時適性検査制度の見直し 認知症のおそれがある場合は医師の診断を受けます。
- ④ 高齢者講習の合理化・高度化 講習を2時間に合理化(短縮)又は3時間に高度化(個別指導など)します。



お問い合わせ

山梨県公安委員会(山梨県警察本部運転免許課) ☎055-285-0533(代表)

高齢運転者の 運転免許の自主返納が増加

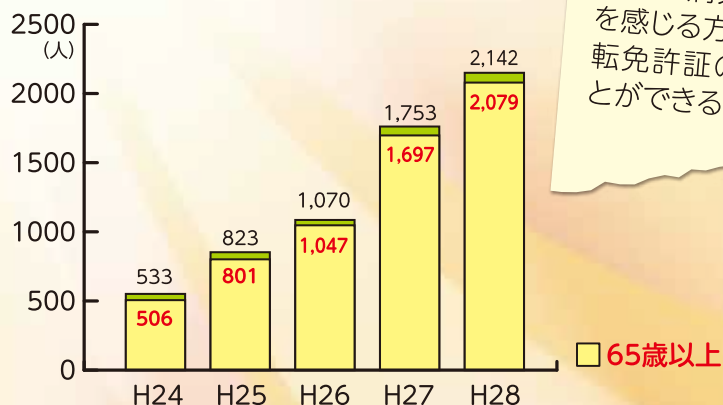
山梨県内は5年で4倍に

加齢に伴う身体機能の低下は、誰にでも起こるものです。正常な運転ができない状態では、運転している高齢者自身の危険はもちろん、歩行者をはねて命を奪ってしまうこともあります。運転に不安を感じる高齢運転者が「事故を起こす前に」と自主的に運転免許証を返納するケースが増えています。また、自動車が運転できないことで生活に不便が出ないように、自治体や地域住民が中心になって、買物などでの外出を支援したり、バスやタクシーの割引サービスをしたりするなどの動きも広がっています。

県内の高齢運転者の自主返納は昨年2,079人

山梨県内でも、運転免許証を自主的に返納する高齢者が増えています。山梨県警察によると、平成28年の自主返納者数は過去最多の2,142人で、このうち65歳以上は2,079人(97.0%)でした。返納する人は5年前の平成24年は533人、うち65歳以上が506人(94.9%)でしたので、高齢者の返納は5年で約4倍に増加しています。

運転免許証自主返納者の推移



運転免許証自主返納制度とは?

加齢や病気などで運転に不安を感じる方が、自らの意思で運転免許証の返納を申請することができる制度です。

「身体機能の低下を意識した」が返納理由のトップ

山梨県警察が平成29年4月から5月末までの間に運転免許証を自主返納した435人から聞いた返納理由(複数回答)を集計したところ、返納理由のトップは「身体機能の低下」でした。次いで「家族友人等の勧め」「運転の必要性がなくなった」などとなっています。

身体機能の低下を意識したから	187人(27.9%)
家族友人等の勧めがあったから	167人(24.9%)
運転の必要性がなくなったから	135人(20.1%)
病気のため運転ができないから	99人(14.8%)
医師から返納を勧められたから	19人(2.8%)
認知機能検査を受けた結果、返納を勧められたから	8人(1.2%)
その他	55人(8.3%)

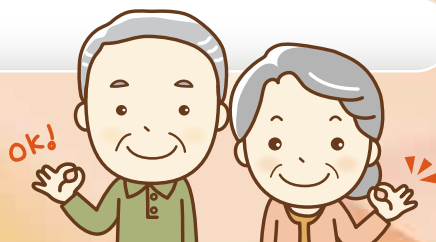
運転に当たっての注意!

70歳以上の高齢運転者が普通自動車を運転するときは、その車の前と後ろの定められた位置に高齢者マークを付けるようにしましょう!



高齢者マーク

このマークを付けて、安全運転しましょう!



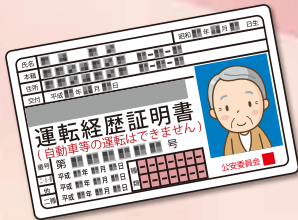
運転免許証の自主返納についての相談・お問い合わせ

山梨県警察本部 運転免許課 ☎055-285-0533(代表)

「運転経歴証明書」が身分証明書に

自主返納した方を対象に身分証明書としても使える「運転経歴証明書」を交付しています。運転免許証が身分証明書の機能があることを背景に、自主返納した場合に、なんらかの形で身分証明書の用いることができるものを発行してほしいとの要望にこたえるためにできた制度です。

65歳以上の高齢者の場合、「運転経歴証明書」の交付にかかる手数料(1,000円)と写真撮影代(620円)は、山梨県交通安全協会が負担するため、申請された方に一切の料金負担はありません。



バスやタクシーの割引など広がる支援の動き

高齢者が自主返納して「運転経歴証明書」の交付を受けた場合、地方公共団体やバス・タクシー業者などが、バスやタクシーの割引制度や公共交通機関の共通乗車券発行等の特典制度を導入する動きが広がっています。

山梨県においても、甲府市の山梨交通バスの利用券の配布や北杜市の市民バス回数券の配布のほか、「運転経歴証明書」の提示によりタクシー(協会加盟71社など)の運賃の1割引、中央市のコミュニティバス料金の無料、一部民間温泉施設の入館料割引などが行われています。他にも多くの特典、優遇などがありますので、詳しい内容については、お住まいの自治体やバス、タクシー等の事業者にお問い合わせください。

地域でも車を使用しない高齢者を支援

自主返納者だけが対象ではありませんが、自治体や事業者だけでなく地域住民による自動車が運転できない高齢者に対する生活支援の動きが広がっています。

南アルプス市湯沢区自治会は月に1度、自治会の役員が車を運転し、高齢者の自宅とショッピングモールを往復しています。自宅にこもりがちな高齢者に外出を促して元気でいてもらおうと、5月から始めました。中央市や甲斐市のショッピングセンターまで送迎するほか、利用者の要望に応じて書店などに立ち寄ることもあるそうです。

南アルプス市社協は、同社協が車を使わない日曜日に無償で車2台を貸し出すなどの協力をしています。車の燃料代と利用者や支援者の保険料は自治会費で賄い、利用者の実費負担はありません。回覧板などで買い物に出掛ける日程を住民に伝え、民生委員らが参加を希望する高齢者をまとめています。



南アルプス市湯沢区自治会が実施している高齢者の送迎

運転免許証の自主返納を決断された方の声

体力のあるうちに返納してよかった

(81歳女性)



前回の更新の時に比べ、自分の衰えを感じました。特に「目」でした。子どもたちには「もう返したほうがいい」という意見と「まだ、大丈夫」という意見がありましたが、冷静に考えて、後で「あの時、返納すべきだった」と後悔したくないと思い決めました。

正直言って迷いました。まだ運転出来そうだが、車がなかったらどんなに不便だろうと。私の場合、車も古くなっていましたので、車検をしようか、買い替えようか迷っていましたが、思い切って廃車にして決心がつきました。今はシルバーパスでのバスやタクシーを利用し、周囲の景色を楽しみながら出掛けるようになりました。まだ体力があるうちに返納して良かったと思っています。

「危ないから乗りたくない」妻の一言で決心

(86歳男性)



平成26年1月9日に車を運転中、病院の駐車場でアクセルとブレーキを踏み間違え、植え込みに車を衝突させる単独物損事故を起こしました。事故を起こしたときはパニックになってしまい、何が起こったのかわかりませんでした。幸いけがなく、警察官から事故の状況を説明してもらいました。

家族会議を開き、息子から免許証を返納し運転はしないほうがよいと説得されました。病院や買物などが自分一人ではできなくなってしまうデメリットも考えて躊躇していた時、妻の「危ないからお父さんの車にはもう乗りたくない」の一言で決心がつきました。家族の説得と自分自身も納得して返納を決意し、1月24日に返納しました。



民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会



民生委員制度創設100周年 全国民生委員児童委員大会

民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会



平成29年7月9日～10日、全国から1万人の民生委員児童委員が参加するなか「民生委員制度創設100周年 全国民生委員児童委員大会」が盛大に開催され、山梨県からは各単位民児協の代表者をはじめとする120名が参加しました。



全国民生委員児童委員連合会会長表彰

天皇皇后両陛下御臨席のもと開催

大会1日目は、東京ビッグサイトを会場に、東京都民生委員児童委員連合会の寺田晃弘会長の開会宣言で開会し、式典と記念講演が行われました。

式典では、天皇皇后両陛下御臨席のもと、全国民生委員児童委員連合会の得能金市会長による式辞、塩崎

恭久厚生労働大臣、斎藤十朗全国社会福祉協議会会長・小池百合子東京都知事の3名からの挨拶、そして、厚生労働大臣特別表彰ならびに全国民生委員児童委員連合会会長表彰の被表彰代表者への表彰状授与が行われました。

山梨県から85名が表彰を受ける

今年度の全国民生委員児童委員連合会会長表彰においては、優良民生委員児童委員協議会表彰の南アルプス市櫛形地区民生委員児童委員協議会をはじめ、山梨県から民生委員児童委員功労者1名、永年勤続民生委員児童委員85名が表彰を受けています。

記念講演では、諏訪中央病院名誉院長で医師・作家の鎌田實氏より「あたたかい社会をつくる」と題した講

演が行われ、地域医療や世界の難民支援に長年尽力してきた講師ならではの説得力とユーモアで、これからの民生委員児童委員活動へあたたかいエールが贈られました。

1日目の最後には、アトラクションとして江戸消防記念会による梯子のぼりが披露され、迫力ある伝統の技に、驚きと感動をもらいました。

全国の仲間と成果や課題を共有

大会2日目は、都内の各会場に分かれて6つのテーマ別研修に参加し、それぞれの研修にて著名な講師陣のお話や他県の実践活動を学ぶ貴重な機会となったほか、東京国際フォーラムで行われた「小規模発表集会」

では、甲府市の玉諸地区民生委員児童委員協議会と笛吹市の石和地区民生委員児童委員協議会が発表を行い、全国の仲間たちと日頃の活動の成果や課題を共有することができました。

ご存知ですか?「福祉用具の日」

車いすやベッドなどの「福祉用具」は、身体機能の低下した高齢者や身体に障がいのある方々の日常生活や社会参加に役立ち、また介護をする人たちの負担を軽減する便利な「生活用具」です。

しかし、一般的にはあまり馴染みがないため、いざ自分が必要な状態になっても、その存在を知らなかったり、もし知っていても周りの目を気にして使うことをためらったりしているのではないのでしょうか。



10月1日は「福祉用具の日」

「福祉用具」は特別な人が使う、特別な道具として受け止められています。

そこで、視力が低下したら眼鏡をかけるように、また歯が悪くなったら入れ歯を使うように、福祉用具を自然に利用できる社会を目指して、今はまだ利用する必要がない人にも広く福祉用具の必要性を知ってもらうために10月1日が「福祉用具の日」と定められました。

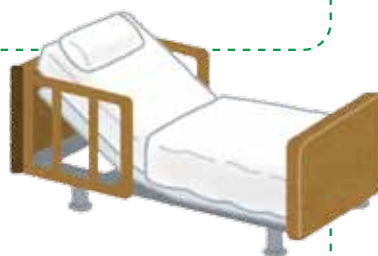
10月1日に制定されたのは、平成5年の「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」(福祉用具法)の施行日にちなんだものです。

この法律は高齢者や障がい者の自立促進、介護をしている方の負担軽減を図るため、福祉用具の普及・開発の促進を目的としています。

普及・啓発へPR活動や福祉用具を展示

平成14年からこの日を通じた福祉用具の普及・啓発キャンペーンが全国一斉に行われています。

本県では、日本福祉用具供給協会南関東支部山梨県ブロックが9月29日に甲府駅でPR活動をするほか、9月30日、小瀬スポーツ公園で開催する「いきいき山梨ねんりんピック」において福祉用具の展示を実施する予定です。



高齢者と障害者の
自立のための
第44回
国際福祉機器展
H.C.R.2017
44th Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2017



●開催内容予定

1 福祉機器約20,000点を総合展示

2 国際シンポジウム

要介護高齢者等の家族介護への支援の取り組みについて、法施策を整備し先駆的な実践を展開しているイギリスから講師を招き、その現状と展望、また日本の現状についての議論を踏まえ、今後あるべき取り組みを考察します。

【日時】2017年9月28日(木) PM

【会場】東京ビッグサイト 会議棟

3 H.C.R.セミナー ~さまざまな参加者を対象に、役立つ最新情報を提供

4 H.C.R.特別企画 ~最新機器、子ども向け製品などを集中展示

5 出展社主催プレゼンテーション ~各社製品の特徴の紹介・PRなど

※プログラムは変更されることがあります。
最新情報と詳細はH.C.R.Webサイト(<https://www.hcr.or.jp>)でご確認ください。

その他、多彩なプログラムを実施。

WEBサイト ▶ <https://www.hcr.or.jp>

H.C.R.2017 事務局 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
一般財団法人 保健福祉広報協会 Tel. 03-3580-3052 / Fax. 03-5512-9798

会期 2017年9月27日(水)~29日(金)

開催時間 10:00~17:30(29日のみ16:00まで)

会場 東京ビッグサイト 東展示ホール
(東京・江東区有明)

入場料 無料・登録制(一部のプログラムは有料)

出展 15か国・1地域の530社からの
約20,000点の福祉機器を総合展示

第30回全国健康福祉祭あきた大会 (ねんりんピック秋田2017)

秋田県PRキャラクター
んだッチ



日時 9月9日(土)～12日(火)

場所 秋田県内13市3町1村

全国から高齢者が集い、スポーツや文化活動を通じて、相互の交流を深める「全国健康福祉祭あきた大会」が開催されます。

本県からも例年選手を派遣しており、今回は8月30日(水)に結団壮行式を行い、山梨県選手団として20種目に総勢165名が参加します。

この大会では、各種球技や水泳等のスポーツ交流大会、囲碁、健康マージャン等の文化交流大会に加え、美術展も開催され山梨県からも県内選考を経た作品12点が出品されています。

また、関連イベントとしては、健康フェア、地域文化伝承館、カラオケ大会、グルメ特産品コーナー等があり、あらゆる年齢層の方々が楽しめるものとなっています。

山梨県選手団として、競技では精いっぱい力を発揮するとともに、全国の人たちや地元の人たちと交流を深め、健康長寿山梨をアピールしてきたいと思います。



前回大会の入場行進

いきいき山梨ねんりんピック2017

日時 9月30日(土) 9:00～15:00

場所 小瀬スポーツ公園

今年で25回目を迎える「いきいき山梨ねんりんピック」は、秋のイベントとして、広く県民の皆さんに親しまれ、毎年多くの方々にご参加いただいております。

このねんりんピックでは、高齢者に適したスポーツや文化活動などを通じて健康を保持し、参加者がふれあい交流できる様々なイベントを用意しています。高齢者だけでなく子どもから大人まで、幅広く楽しめる内容になっていますので、ぜひご家族でご参加ください。

弓道



凧作り



ペタンク



主な内容

- 〈スポーツの広場〉グラウンド・ゴルフ、ペタンク、弓道、クイズウォーキングなど
- 〈まつりの広場〉健やか健康ウォーキング教室、手作り工作体験コーナーなど
- 〈趣味の広場〉囲碁、将棋、フォークダンス(10/1開催)

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

保険金額・年間保険料(1名あたり)

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)		
年間保険料	基本タイプ	350円	510円	
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円	

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。)
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を選定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

● この案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受郵便 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

北杜市ボランティアセンターは、市内で活動するボランティアの方々やこれから活動を始めたい人たちをサポートしています。

ボランティアをしたい方とボランティアに来てほしい方をつなぎ、より多くの皆さんにボランティア活動に関わって頂けるよう、情報の提供や相談をお受けしています。ボランティアの輪がさらに広がるような様々な取り組みを行っていきます。



北杜市ボランティアセンター

《活動推進・普及啓発》

- ★ボランティアのつどい
- ★ボランティアルームの貸出
- ★ボランティアリーダー研修
- ★介護支援ボランティア受付・活動サポート
- ★ボランティア保険の相談・受付



《福祉教育の推進》

- ★学習会(高齢者疑似体験・車いす体験・アイマスク体験等)への派遣協力
- ★福祉講話のコーディネート
- ★ボランティア活動普及校の指定・助成(市内小中高校)

《各種ボランティア講座・研修》

- ★傾聴ボランティア養成講座
- ★読み聞かせボランティア養成講座
- ★手話奉仕員養成講習会

市内で活動しているボランティアが実行委員となって企画運営し開催しています。



市防災訓練にてボランティアと協働し、ボラセン設置訓練をしています。

《災害関連》

- ★養成講座・研修の実施
- ★災害ボランティアセンター設置・運営訓練



北杜市ボランティアセンター

業務時間：月曜日～金曜日 8:30～17:30

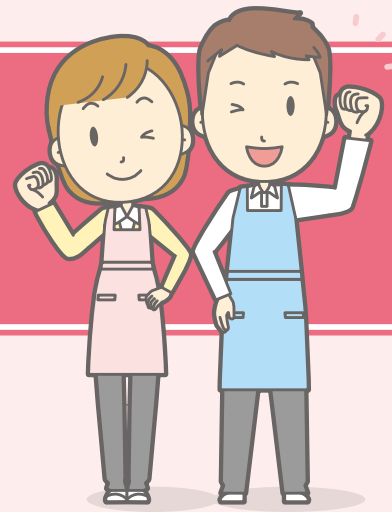
<http://www.shakyo.or.jp/hp/842/>

住所：北杜市高根町箕輪新町50
(社会福祉法人 北杜市社会福祉協議会 本所)

TEL：0551-47-5202

FAX：0551-47-5206

福祉人材研修課から 研修のお知らせ



介護職員スキルアップ別研修 「清潔の保持～入浴～【基礎編】」

清潔の保持(入浴)は日常生活において重要な役割を果たしています。入浴介助に携わる介護者は要介護者の心身の状態に合わせた援助をすることが大

切です。この研修では介護保険施設等にお勤めの方(勤務年数が概ね1年未満の方)を対象に入浴介助の基礎を講義・演習を交えて学びます。

デイサービスセンター事業者の経営戦略セミナー

デイサービスセンターは、地域の高齢者介護・福祉の拠点として、重要な役割と責任を果たすことが期待されています。このセミナーでは、経営者や施設長などを対象に、現在の介護保険を取り巻く現状を踏

まえ、デイサービスセンターを支える人材育成とデイサービス経営戦略について理解を深め、事業の実践につなげていきます。

※開催日等の詳細は、決定次第ホームページ(<http://www.y-fukushi.or.jp>)に掲載します。

【お問い合わせ】福祉人材研修課 ☎055-254-8654

山梨県からのお知らせ

山梨県保育士就職応援フェアを開催します

山梨県内の保育園や認定こども園に就職を希望される方を対象に、見学バスツアーと就職フェアを開催します。

一度にたくさんの園の情報を得られる機会です。すぐに就職しない方も普段着でお気軽にご参加ください。



●バスツアー 9月29日(金)

中型バス5台で、県内の保育園や認定こども園を見学して回ります。大変人気のある見学会で、参加人数70名程度を予定しています。(ルートを選択することができます。)具体的な見学先(コース)については、山梨県のホームページをご覧ください。

●保育士就職応援フェア 9月30日(土) 10:00～16:00

新卒学生、一般の方を対象に保育士就職応援フェアを開催します。山梨学院短期大学内 サザンタワー(60周年記念館)にて開催を予定しています。詳細については、山梨県のホームページをご覧ください。

※両企画とも参加費無料です。ぜひこの機会に見学バスツアーと就職フェア併せてご参加ください。

《お問い合わせ》〒400-8501 甲府市丸の内1丁目6番1号 山梨県子育て支援課 ☎055-223-1456

介護実習普及センター 講座のご案内

高齢者介護をしている家族向けの講座

講座名	内容	定員	開催日	開催時間	開催場所	対象者
お年寄りに起こりやすい病気の予防と対応	様々なテーマについて、詳しい介護の知識や技術について学びます。	30名	9月6日(水)	10:00~16:00	山梨県 福祉プラザ 1階 介護実習室	一般県民
お年寄りの排泄の問題と そのお世話		30名	9月15日(金)	10:00~16:00		
認知症サポーター養成講座	認知症の基礎知識や認知症の方への対応を学びます。	30名	9月25日(月)	9:30~12:00		
お年寄りの食事のお世話	1日目 お年寄りの食事の特徴 2日目 栄養を補う副菜の調理 3日目 飲み込みの障害に 合わせた調理の実際 *1日のみの参加も可能 *材料費として1日当たり500円必要です。	20名	9月12日(火)	9:00~14:00	山梨県 福祉プラザ 1階 調理実習室	
			9月13日(水)			
			9月20日(水)			

※都合により、やむをえず開催日時を変更することがありますので、ご了承ください。

受験要件がある講座

講座名	内容	定員	開催日	開催時間	開催場所	対象者
認知症地域公開講座 in中央市	認知症の理解や援助に関する講演等	200名	9月3日(日)	13:30~16:30	中央市立 玉穂生涯学習館	認知症について 学びたい方
認知症キャラバン・メイト 養成講座(国中)	「認知症サポーター養成講座」 の講師役「キャラバン・メイト」 を養成	100名	10月12日(木) ※申込締切日 9月4日(月)	9:30~16:30	アイメッセ山梨	年間最低3回、 講座を 務めることが 出来る方
認知症キャラバン・メイト 養成講座(郡内)		100名	10月26日(木) ※申込締切日 9月19日(火)	9:30~16:30	富士吉田 市民会館	

※都合により、やむをえず開催日時を変更することがありますので、ご了承ください。

団体向け講座 (5名以上のグループでご参加ください)

講座名	内容	定員	開催日	所要時間
入門介護講座	介護のこころの講義や高齢者疑似体験を通して高齢者への理解を深めます。	30名	通年(随時)	2時間30分
福祉用具体験講座	展示室にある福祉用具に、実際に“見て、触れて、体験”します。	20名	通年(随時)	1時間30分
介護保険の仕組みとサービス	介護保険制度の基本的な内容について学びます。	20名	通年(随時)	1時間30分
認知症サポーター養成講座	認知症の基礎知識や認知症の方への対応を学びます。	30名	通年(随時)	2時間
認知症サポーター ステップアップ講座	認知症の症状の捉え方や具体的な対応法について学びます。	20名	通年(随時)	1時間30分

※開催日については、団体からの希望日時と相談になります。

※開催場所については、当センターのほか出張も可能です。



[お問い合わせ・お申し込み先] 介護実習普及センター Tel:055-254-8680



福祉のおしごと マッチングカフェ

採用予定のある事業所と、お仕事を探しているあなたをつなぐ、個別面談・相談会を行います。

9月の予定 6日(水) 特別養護老人ホーム ゆめみどり
13日(水) 緑と風
20日(水) 高原病院 他
27日(水) パティオ蓬沢

時間 14:00~16:00

会場 山梨県福祉プラザ4階
福祉人材センター

お問合せ先 福祉人材センター
☎055-254-8654



善意をありがとう

ワンタッチ式のビニール傘のご寄贈

7月28日、山梨県庁知事室にて、後藤知事、小島福祉保健部長の立ち会いのもと、NPO法人国際ブリアー(董燕燕代表理事)より、ワンタッチ式のビニール傘1,500本を山梨県社会福祉協議会(芦澤敏久会長)に寄贈いただきました。

寄贈いただきました傘は、県内の福祉施設に配布させていただきます、ご活用いただきます。

たくさんの善意の傘をありがとうございました。



地域別小規模就職相談会を開催します

地域を限定して仕事を探したい。自宅に近い所で、空いている時間を活かして仕事をしたい。あるいは、福祉の仕事に関心はあるけれど、まだ具体的な就職活動はしていないという方々に、求人事業所の人事担当者と直接情報交換していただく場を設けます。

ぜひこの機会にご参加ください。参加費、事前申し込みは不要です。

対象エリア 郡内(この地域の求人)
9月21日(木) 13:30~15:30
富士吉田市民会館
(富士吉田市緑ヶ丘2-5-23)
峡中※南アルプス市除く(この地域の求人)
10月24日(火) 13:30~15:30
山梨県福祉プラザ4階会議室
(甲府市北新1-2-12)

※今後の開催予定
・峡東 11月 ・峡南・南アルプス 1月 ・峡中 2月
※参加事業所は、各開催日1週間前より山梨県社会福祉協議会ホームページに掲載します。
<http://www.y-fukushi.or.jp>
※詳細についてはお問い合わせください。

お問合せ先 福祉人材センター
☎055-254-8654



貸し出し 図書紹介

急変予防& 対応ガイドマップ 高齢者救急

著者 岩田充永
発行者 株式会社医学書院
〒113-8719
東京都文京区本郷1-28-23
Tel(販売部) 03-3817-5650
ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>



高齢者救急はもはや避けては通れない時代です。高齢者は、訴えがあいまいで症状がはっきりとあらわれない、背後に重い病気が隠れているかもしれないなど、とにかく判断に迷うケースばかりあり、そんな悩めるケースの初期アセスメント→対応の流れを一目でわかるチャートで解説しています。

本書は、目の前の高齢者のどこに気をつければいいのかズバツとわかり、ありそうでなかった高齢者救急のガイドマップとなっています。

このほかにも介護・看護・福祉についての本(約300冊)やビデオ・DVD(約200本)を貸し出しております。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。

☎055-254-8680

広報誌「やまなしの福祉」をパソコンやタブレットで閲覧

広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧いただけます。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

9月号は以下の通りです。

9月号のID
yfukushi337

Android用



iOS用



※パスワードは必要ありません

幼稚園 福祉施設等でも活躍!
ウイルスによる食中毒の対策に!
柿渋パワー製剤
アルタンノロエース
2012.9 特許取得
食品や調理器具をはじめ、施設内の人が手をふれる場所全ての衛生管理に

アルタン 検索

現場の声をカタチに...いつもアルタンから。
アルタン株式会社
東京都大田区東堀谷 3-11-10 TEL 03-3743-5705

広島大学との共同研究で開発されたエタノール製剤・食品添加物です。